

下大和田谷津田だより

2002年7月号

第13回YPP報告 どろんこ田んぼづくり&ネイチャーゲーム 6月22日 曇り

心配した雨に降られることなく、YPPの「どろんこ田んぼづくりとネイチャーゲーム」を行うことができました。

幼児から年輩の方まで28名が参加。どろんこ田んぼにはびこった草は、刈りながら起こさなければならず大変でしたが、和気あいあい、のんびりと話をしながら全部起こし終えることができました。今年もこの田んぼから子供たちのはしゃぎ声が聞こえてくることでしょう。

ネイチャーゲームは自然の中に隠した人工物を捜す「カモフラージュ」と五感を使って指定されたものを見つけ拵える「フィールドビンゴ」を楽しみました。カモフラージュではまず子供たちが大いに張り切って、自分の順番が回ってくるのが待ちきれない様子。それを斜に構えて見ていた大人達も自分の番になると真剣そのもの。全部見つけきれず躍起になって捜していました。結局、良い成績を収めたのは子供たちでした。フィールドビンゴはなるべくいろいろな人が一緒にグループになって歩きました。めいめいの発見を分かち合って、ビンゴのシートはどのチームもほとんど埋まっていました。

田んぼからトンボが飛び立ち、コウゾの実が甘く熟し、カブト虫も姿を見せてくれる谷津田の1日を楽しく過ごすことができました。参加いただいた皆さん、有り難うございました。

<参加者の声から> サンショウを口に入れたらしびれた。今日のおかげで平気でクモやいろいろなものをさわめるようになりました；田んぼで遊んでメダカをとったのは 十年ぶり、楽しいひとときでした；千葉にこんなところがあって、おもしろいです。
(参加者：大人19人・小学生5人・乳幼児3人)

第29回定例自然観察会報告 6月2日

千葉県立中央博物館友の会会長で、植物生態に詳しい岩瀬徹氏を講師にむかえ、谷津田や斜面林の植物の特徴など実物を観察しながら、興味深い話をたくさんうかがいました。また、野鳥研究者である越川重治氏（国分高校）や、ほ乳類研究者の仲真悟氏も参加してくださり、充実した観察会となりました（参加者24名）。

<花> アレチノギシギシ、イ、イヌガラシ、イヌムギ、ウシハコベ、ウツギ、オオジシバリ、オオチドメグサ、オオバコ、オッタチカタバミ、オニタビラコ、オランダミミナグサ、カズノコグサ、カタバミ、カニツリグサ、ガマズミ、カモガヤ、カモジグサ、キクバドコロ、キショウブ、キツネアザミ、キツネノボタン、クサイ、クリ、クレソン、ケキツネノボタン、コメツブツメクサ、コモチマンネングサ、シマスズメヒエ、シロツメクサ、スイカズラ、スカシタゴボウ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、セイヨウタンポポ、タガラシ、タチイヌノフグリ、タネツケバナ、チチコグサモドキ、チドメグサ、ツメクサ、ツククサ、トウバナ、トキワハゼ、ドクダミ、ドジョウツナギ、ナルコユリ、ナワシロイチゴ、ノゲシ、ノミノフスマ、ハハコグサ、ハルジオン、ヒエガエリ、ヒメジョオン、フシゲチガヤ、ヘビイチゴ、ホドバヨツバムグラ、ミミナグサ、ムラサキケマン、ムラサキシキブ、ヤマホタルブクロ、レンゲ

<野鳥> ウグイス、シジュウカラ、メジロ、ホトトギス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、コゲラ、カワセミ、カルガモ、オオヨシキリ

<昆虫・クモ> ナミテントウムシ、ナナホシテントウムシ、アワフキムシ、セイタカアワダチソウヒゲナ、アブラムシ、マルカメムシ、ゴミムシ sp.、ハネカクシsp.、オケラ、ヒシバツタ、ヒガシカワトンボ、シオカラトンボ、モンキチョウ、モンシロチョウ、モンキアゲハ、ヒメウラナミジャノメ、ルリシジミ、ミヤマセセリ、シロシタホタルガ（幼虫）、タケカレハ、ヨシカレハ、クワゴマダラヒトリ、コタガコガネグモ、イオウイロハシリグモ、ホソバセダカクモ

<その他の生物> ハイイロゲンゴロウ、クロゲンゴロウ、メダカ、ミジンコ、ニホンアカガエル、ヤマカカシ、シュレーゲルアオガエル（卵塊・親）、シマヘビ

定例観察会と谷津田プレーランドP外（YPP）の活動を中心として、下大和田のようすを皆さんにお伝えします。皆様のご投稿、ご意見をお待ちしています。 高山邦明